

消費生活相談の現場から

『あなたの個人情報が悪質業者に登録されている。情報を削除しましょうか』という電話があった。どうすればよいか』という問い合わせが、消費生活センターに相次ぎました。何が目的か分からなかったのですが、その手口が消費者庁の発表で以下のように明らかになりました。

- ①「国民生活センター」などの公的機関名を名乗り、「悪質業者の名簿からあなたの個人情報を削除しましょうか」との電話が入る。電話を受けた人(消費者)は、公的機関の名前を信用して削除を依頼する。
- ②次に、「1社だけ削除に応じない会社があるが、あなたの代わりに別の人を登録すれば削除に応じるらしい。登録する人を紹介しましょうか」との電話が入る。信用してしまった消費者は、紹介を依頼する。
- ③センターから依頼されたという福祉財団の理事を名乗る人物から「名簿登録を引き受けました。代わりに、『成寿園株式会社』(以下成寿園)というところ

個人情報削除のお礼が車いす購入の名義貸し!?



から車いすを購入するための名義を貸してほしい。代金は当財団が負担する」という電話が入る。消費者は「お世話になったから」と了承してしまう。④成寿園の経理を名乗る人物から電話が入り、「車いすの代金が福祉財団から振り込まれたが、当社は個人名でないと受け付けできない。すぐにあなたの名前で支払いをしてほしい」と、強く言われる。消費者が福祉財団とのいきさつを話すと、「それは名義貸しなので、罪が問われて裁判になる!」と脅される。慌てた消費者は、指定場所にお金を振り込んでしまう。

以上が最近の悪質商法の特徴である、ドラマ仕立てのたましの手口です。

不審な電話を受けたら、必ず下記までお問い合わせください。

問合せ 消費生活センター ☎ 495・6212(相談専用)



清瀬の風俗や郷土文化、伝統などを写真やイラストとともに紹介します。

キヨセ ケヤキ ロードギャラリー作品紹介その8

木々は葉の色を変え、すっかりと冬の装いになったキヨセ ケヤキロードギャラリー。今回は果物をモチーフにした、ユニークな作品を紹介します。

問合せ 郷土博物館 ☎ 493・8585

①「エヴァからもらった大きなリング」
1966年制作 ブロンズ/簡潔な表現に心理的でユーモラスな要素を盛り込んだ作風がうかがえる。



【作者紹介】
堀内正和(1911～2001)

二科会の美術研究所の番衆技塾に入り藤川勇造の指導を受ける。高村光太郎賞、毎日芸術賞などを受賞。海外の美術展でも受賞を重ねた彫刻家。

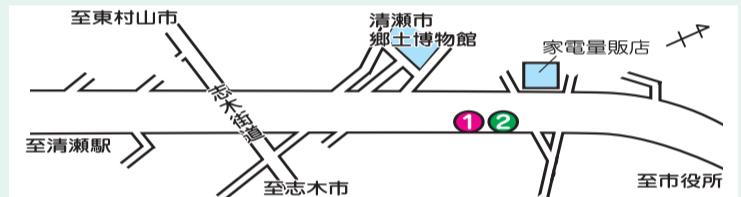
②「いちご」 1986年制作
作品はさまざまな形式をとっているが、大胆さのなかにユーモラスを感じさせる作品の一例である。



【作者紹介】
掛井五郎(1930～)

東京藝術大学彫刻専攻科を修了。中原悌二郎賞優秀賞、高村光太郎大賞展優秀賞、浅野順一賞などを受賞。

作品配置場所



地域の「チカラ」向上プロジェクト

この秋、市内の各地域では、市民まつりをはじめとするさまざまな催しが行われました。

10月末には第七小学校にて七小円卓会議主催「第2回七小芝生まつり」が、11月16日には竹丘緑地公園にて竹丘一・二丁目団地の7自治会の組織であるチーム竹丘主催「第3回防災交流会」が開催されました。

芝生まつりでは昨年よりも多くの子どもたちが集まり、ラジオ体操や少林寺拳法の演武が行われました。また、座布団を飛ばして距離を競うイベントでは子どもたちが座布団を力いっぱい投げ、飛んだ距離を競い一喜一憂するなど、笑顔の絶えないイベントとなりました。

一方、防災交流会では、消防署による救命講習会や消火訓練の他、模擬店や楽しい演目があり、第三小学校の児童によるソーラン踊りの際には、来場者の応援でとても盛り上がっていました。

どちらのイベントもスタートしてから年数が浅いですが、地域のなかでお互い協力しあい、イベントを成功させ、おとなと

地域の「つながり」を育む多くの交流会が行われました



力いっぱい座布団を飛ばす子どもたち

子どもと一緒に楽しむこともでき、世代を超えた地域の一体感が生まれていたと感じます。

次回の各校区の円卓会議は下記のとおりです。地域コミュニティへの参加や、地域の問題などで話したい方など、どなたでも参加できます。

また、12月20日(土)の六小円卓では「クリスマスリースと正月しめ縄飾りの手作り講習会」を開催します。ぜひご参加ください。

問合せ 企画課市民協働係 ☎ 497・1803

円卓会議の開催日程

- 四中＝平成27年1月19日(月)午後2時～、四中図書室
- 三小＝12月17日(水)午後6時～、三小被服室
- 六小＝12月20日(土)午後1時～、梅園老人いこいの家
- 七小＝12月13日(土)午前10時～、七小大会議室

健康ナビ

「ノロウイルス感染症」と「インフルエンザ」に特に注意が必要な季節になりました。いずれも毎年11月から翌年の4月にかけて流行する感染症です。

ノロウイルスは、少量のウイルスでも発症し、感染力のとても強いウイルスです。潜伏期は1日から3日で、吐き気・嘔吐・下痢・腹痛・軽度の発熱などの症状があります。ひどい下痢や嘔吐が続く場合は、早めの医療機関受診が必要です。発症したら、脱水症状に注意し、水分補給に努めましょう。

ノロウイルスは、カキなどの二枚貝からの感染が有名ですが、人から人への感染力も極めて強力です。ノロウイルスに感染した人の嘔吐物や便には大量のノロウイルスが含まれており、接触した手から感染します。

また、空気中に飛び散ったウイルスからの感染もあります。消毒は家庭用漂白剤などの塩素系消毒剤が効果的です。嘔吐物を処理する際には、部屋の換気を十分に行い、マスクと手袋を使用して下さい。最も有効な予防法は手洗いです。トイレを使

冬に注意したい感染症

用した後や食事の前には、必ずせっけんで手を洗いましょう。

インフルエンザは、流行すると年齢を問わず短期間で大勢の人がり患します。潜伏期間は1日から数日で、38度以上の発熱・頭痛・咳・筋肉痛などの症状があり、いわゆる「風邪」より全身症状が強く出ます。

ウイルスは、咳やくしゃみなどで飛ぶ飛沫によって感染するので、マスクの着用や、うがいと手洗いで予防ができます。

また、日ごろから十分な睡眠や休息、バランスよく栄養をとって免疫を高めるのも効果的です。自分がインフルエンザを発症したと思ったら、早めに医療機関を受診しましょう。インフルエンザの予防接種や、費用の助成など詳しくは、下記までお問い合わせください。

いずれの感染症にもいえることですが、「人ごみを避ける」「こまめな手洗い」「マスクの着用」「十分な睡眠や休息」「バランスのとれた栄養摂取」を心がけましょう。

問合せ 健康推進課保健サービス係 ☎ 497・2077